

## 持株会社体制への移行に関するお知らせ

日本出版販売株式会社（代表取締役社長：平林 彰 以下、当社）は、来事業年度中にあたる2019年10月1日付で持株会社体制に移行するため、このたび準備を開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### (1) 背景

当社は、1949（昭和24）年の創業以来、出版物を通じて日本文化の普及・発展に貢献することを使命として、出版流通の革新を行い、その時代における読者のニーズに応える企業活動を継続してまいりました。

今日においては、出版業界を取り巻く環境は様々に変化し、当社も文具・雑貨や映像、イベント等様々な事業を展開するに至っております。また、2018年度からスタートいたしました中期経営計画では「本を起点に広がる可能性に挑戦する」をコンセプトに、本から紡ぎだされる生活シーンすべてを事業領域とし、新たな価値の創出に挑戦しております。

その結果、本事業年度時点で連結子会社が20社を超え、小さな芽を出し始めている新たな事業も出てまいりました。

これらの背景をもとに、当社は、2019年10月1日に持株会社体制へ移行するための準備を開始することを決定いたしました。

#### (2) 目的

持株会社体制への移行の目的は、本業である取次事業をしっかりと再構築することにあります。加えて、当社グループとして、成長の芽を育てることを目指してまいります。

また、体制の変更により、以下の3点を実現します。

##### ① 権限移譲による柔軟かつ迅速な事業判断

当社グループ各事業の責任と権限を明確にし、経営環境の変化に対して柔軟かつ迅速な事業判断を可能とすることで、一層の成長を実現してまいります。

##### ② 事業ごとのアライアンス促進

各事業領域に最適なパートナーシップを短期間で形成できるよう、事業ごとの積極的なアライアンス戦略を検討し、実行してまいります。

##### ③ グループ経営機能の強化

持株会社は、新お茶の水ビルディングをはじめとした資産を保有し、グループの経営に特化することで、全体最適に基づくリソース配置やガバナンス強化を果たし、各事業会社が利益創出に専念できる体制づくりを進めてまいります。

(3) 移行方法及び日程等

現在の当社から、2019年4月1日に新設予定の完全子会社（以下、「新子会社」）へ同年10月1日をもって子会社管理および不動産管理以外のすべての事業を簡易吸収分割（以下、「本吸収分割」）により承継させ、現在の当社は持株会社に移行いたします。尚、当社は株主総会で承認されることを条件として、2019年10月1日付で持株会社としての商号に変更する予定です。併せて、新子会社が日本出版販売株式会社に商号変更いたします。

(4) 持株会社体制へ移行後の取次事業におけるお取引について

取次事業は、新子会社が承継いたしますので、お取引はこれまでと変わることなく新子会社が継続いたします。

(5) 2019年10月1日以降のグループ体制の概要（予定）

※別紙

以上

■本件に関するお問い合わせ

日本出版販売株式会社 広報室

TEL.03-3233-3829 FAX.03-3233-6045

E-mail:press@nippan.co.jp

2019年10月1日以降のグループ体制の概要（予定）

持株会社  
(現 日本出版販売(株)) \*1

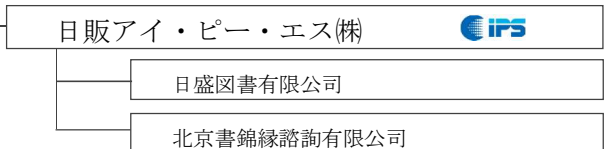
取次事業



小売事業



海外事業



雑貨事業



コンテンツ事業

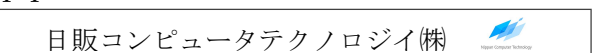


エンタメ事業 \*3

その他事業



グループIT



シェアードサービス \*3

\*1…現日本出版販売(株)の株主総会で承認されることを条件として、2019年10月1日をもって商号変更予定です。  
\*2…2019年4月1日に新子会社を設立し、同年10月1日に現日本出版販売(株)から本吸収分割により子会社管理および不動産管理以外のすべての事業を承継、同日に日本出版販売(株)へ商号変更予定です。  
\*3…エンタメ事業、シェアードサービスに関しては、2019年10月1日以降の将来構想ですが、現時点では検討中です。